

令和7年度事業報告

令和7年度実績

<ケアハウス入居部門>

(I) 入居者実績

- 1) 一般型(定員6): 6名
- 2) 特定施設(定員36): 36名

(II) 年間退居者実績

項目	令和7年度	前年度
退居者総数	13名(男性2・女性11)	6名(男性1・女性5)
退居理由	入院1名	入院0名
	看取り11名(男性2・女性9)	看取り6名(男性1・女性5)
	在宅復帰1名	他施設入所0名

(III) 年間行事実績

参考資料①参照

(IV) カンファレンス実績(年間12回実施)

実施日					
4月16日	5月21日	6月25日	7月23日	8月20日	9月17日
10月22日	11月26日	12月17日	1月21日	2月18日	3月25日

入居者様の状況(男女比・年齢・住所地・介護度の変遷)

① 一般型(1階6室)

令和8年3月31日現在

	令和8年 3月	令和7年 3月	令和6年 3月	令和5年 3月	令和4年 3月	令和3年 3月	
男性	4名	4名	4名	3名	3名	2名	
女性	2名	2名	2名	3名	3名	3名	
男女比	66:34	66:34	50:50	50:50	50:50	25:75	
平均年齢	79.67歳	79.2歳	78.0歳	75.0歳	78.5歳	84.8歳	
住 所 地	藤枝市 (うち岡部町)	6名 (3名)	6名 (3名)	5名 (2名)	6名 (2名)	6名 (2名)	4名 (1名)
	焼津市	0名	0名	0名	0名	1名	1名
	島田市	0名	0名	0名	0名	0名	0名
	静岡市	0名	0名	0名	0名	0名	0名
	その他の市町	0名	0名	1名	0名	0名	0名

② 特定施設（介護付 2・3階）

令和8年3月31日現在

		令和8年 3月	令和7年 3月	令和6年 3月	令和5年 3月	令和4年 3月	令和3年 3月
男 性		10名	6名	6名	8名	4名	4名
女 性		26名	30名	30名	28名	32名	32名
男女比		27 : 73	17 : 83	17 : 83	22 : 78	11 : 89	11 : 89
平均年齢		90.08歳	90.81歳	90.69歳	89.36歳	88.91歳	88.91歳
住 所 地	藤枝市 (うち岡部町)	28名 (21名)	27名 (20名)	30名 (23名)	30名 (23名)	28名 (24名)	28名 (24名)
	焼津市	4名	4名	2名	3名	5名	5名
	島田市	0名	0名	0名	0名	0名	0名
	静岡市	2名	2名	2名	1名	1名	1名
	その他の市町	2名	3名	2名	2名	2名	2名
介 護 度	要支援1	0名	0名	0名	0名	0名	0名
	要支援2	2名	1名	1名	0名	1名	1名
	要介護1	12名	8名	4名	7名	13名	13名
	要介護2	10名	12名	18名	12名	8名	8名
	要介護3	7名	5名	2名	4名	4名	4名
	要介護4	2名	5名	5名	7名	4名	4名
	要介護5	3名	5名	6名	6名	6名	6名
	平均介護度	2.13	2.57	2.68	2.81	2.52	2.52

(V) 感染症対策

*職員の感染予防徹底と、施設に持ち込まない・入居者様に感染させないことを継続して行ってきたが令和8年2月24日入居者にコロナ陽性者発生。職員の感染も確認し計9名が感染。3月9日に完全終息を迎えた。

三輪医院や行政発信の情報をいち早く収集し、掲示板やグループ LINE 等を使い職員へ迅速な情報提供に努めてきた。

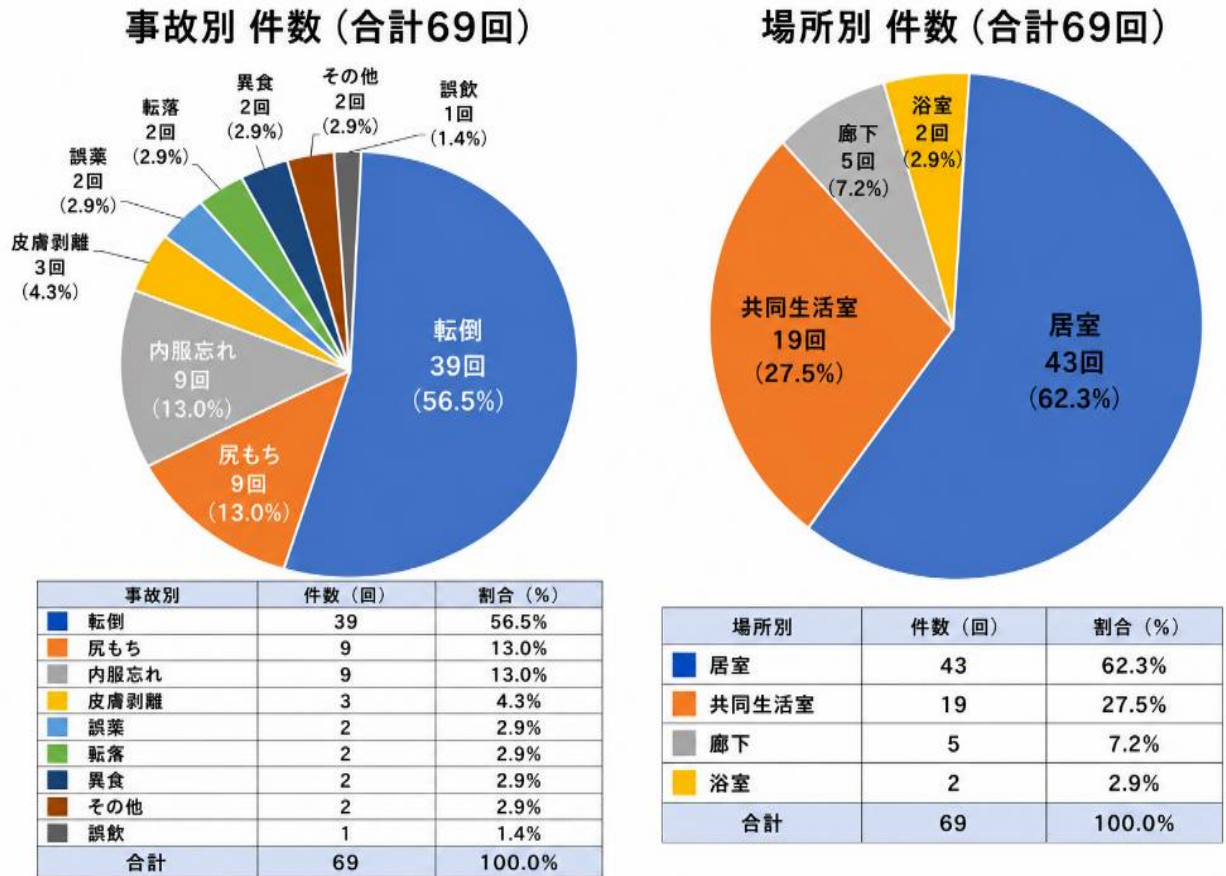
(VI) 入居者個別支援

*毎月行われるカンファレンスの場で議論を重ね情報共有に努めた。

*介護職員、看護職員、介護支援専門員、機能訓練指導員等が連携し、個別支援計画に基づくサービスを定期的に行った。

*看取りや終末期に関して本人及び家族の意向を尊重し、穏やかに生活できるよう支援に努めた。

(VII) 7年度事故統計



事故別では、「転倒」が 39 件で全体の 56.5%を占め、最も多い結果となりました。次いで、「尻もち」9 件 (13.0%)、「内服忘れ」9 件 (13.0%) となっております。事故統計を分析すると、「転倒」と「居室内事故」が大きな課題となっております。今後も事故分析を継続し、職員教育・環境整備・ケアの標準化を進めながら、事故件数減少と安全性向上に取り組んでまいります。

(VIII) 防災の取り組み

- *水防避難訓練 (岡部聖母保育園と連携) の実施(6 月)
- 地震・火災想定避難訓練 (10 月) ※消防署より煙発生装置を借用
- 停電訓練 (1 月) 情報伝達訓練 (12 月) 消火訓練 (年 2 回)
- *非常用自家発電機の稼働。非常時に備え毎月行われる防災委員会内にて試運転を行い操作方法、切り替え開閉器の場所、主観ブレーカの場所、停電時の使用可能コンセントの場所の確認を行った。

(IX) リハビリの実践

- *午前中は集団体操、午後には個別リハビリを行いながら機能維持に努めた。
- *通所介護配属の機能訓練士と連携を図りケアハウス入居者は午前中と夕方、通所利用者は午後の時間を活用し3階にあるリハビリ室を有効に活用できている。
- *リハビリ部門長も参加する月1回の会議を毎月実施。リハビリ部門として情報を共有。通所と入居、部署を越えた連携に繋げている。

(X) 研修計画

- *年間研修計画に沿って職員研修を実施し、入居者が安心して生活できる支援体制づくりに努めた。外部研修への参加は1名となった。
- *玄関の掲示板を整理し静岡県社会福祉協議会、静岡県老人福祉施設協議会、静岡県介護福祉士会が運営する県有案内を随時行った。

(XI) 広報活動

- *PR活動の一環として、岡部中学校の職場体験(5月)受け入れや教員を目指す大学生の体験受け入れ(7月~12月)等を行った。
- *施設のインスタグラムを活用し施設の取り組みや入居者様の生活の様子、施設内部の取り組みを外部へ発信してきた。
- *地域包括支援センターや藤枝、焼津の社会福祉協議会との連携、ユニケア岡部との情報共有から待機者の確保に努めている。

参考資料① 令和7年度年間行事実績

月	法人	ケアハウス	デイサービス	共同行事・訓練等
4		広島焼き(9日)	13周年お祝いの会(1日) 桜・藤花見(30日)	
5	評議員選任 解任委員会 (1日)	新茶会(8日)	新茶会(8日) バラ花見(3日～9日)	
6	理事会 (11日) 評議員委員会 (26日)	運動会(4日)	紫陽花花見(4日～6日)	水防避難訓練(26日) (岡部聖母保育園と合同) 炊き出し訓練(26日)
7		フルーツポンチ(8日) 岡部宿次郎長会(24日)	岡部宿次郎長会(24日)	消火訓練(8日～10日)
8			七夕の会(7日) 納涼会(18日、19日)	
9		ソフトクリーム(4日、5日) 敬老会(17日)	焼津港外出(4日) 敬老会(15日)	
10			彼岸花花見(1日～3日) 運動会(22日、23日)	防災避難訓練(29日)
11		秋祭り(12日)	入浴介助勉強会(6日) 紅葉見学(18日、26日) 恵比寿講(20日) 味噌づくり(25日)	消火訓練(24日～28日) 炊き出し訓練(25日)
12		焼き芋(5日) 忘年会(24日)	忘年会(9日、10日)	情報伝達訓練(12日)
1		新年会(7日) 握り寿司(21日)	新年の会	
2		そば打ち(26日)	節分の会(3日) そば打ち(26日) 花見(27日)	炊き出し訓練(26日)
3	理事会 (24日)		木蓮花見(3日、12日)	

通年行事

ケアハウス	デイサービス
<ul style="list-style-type: none"> ・喫茶の時間(毎週火曜日午後) ・園芸活動(不定期) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアカンファレンス・サービス担当者会議 ・クラブ活動(園芸・調理・作品・手芸・)
<ul style="list-style-type: none"> ・感染予防委員会(第1水曜)・事故(虐待・拘束)委員会(第3水曜)・防災委員会(第3金曜) ・給食委員会(不定期)・ケアカンファレンス(毎月1回)・リハビリ会議(毎月1回) ・部門長会議(毎月1回)・経営会議(毎月1回)・通所会議(3ヶ月に1回) 	

<デイサービス部門>

(I) 利用者実績

*営業日数は減っているが、年間利用延べ人数は前年度を上回ることができ新規件数も増加している。

項目	令和7年度	令和6年度	令和5年度
営業日数	257日	280日(土曜含む)	307日(土曜含む)
年間利用延人数	7,786名	7,741名	8,176名
平均利用人数(土除く)	30.3名	29.2名	29.6名
平均介護度	2.1	2.3	2.5
新規件数	42名	27名	24名
再開件数	12名	12名	14名
終了件数	40名	37名	36名
休止件数	7名	10名	16名
利用増件数	30名	31名	23名

年間休止者・終了者の内訳(計47名)

*退院後そのまま施設入所されるケースや、独居生活の方の施設入所が多くみられた。

項目	令和7年度	令和6年度	令和5年度
死亡	6名(うち自宅看取り5)	10名	8名
入院	8名(終了2・再開6)	15名(終了5・再開10)	16名
ユニケア入所	17名(うち在宅復帰3)	15名(うち在宅復帰2)	12名
ケアハウス入居	4名	0名	4名
他施設入所	9名	3名	11名
その他	3名	4名	1名

利用者の内訳(登録人数69名:令和8年3月31日)

*要支援の方が減少。年齢層に幅の広さがみられるが、平均年齢は年ごとに上昇している。

介護度				年齢		性別		居住地	
要支援1	0名	要介護1	24名	60代	1名	男性	13名	藤枝市岡部地区	46名
要支援2	2名	要介護2	20名	70代	8名	女性	56名	朝比奈地区	9名
		要介護3	14名	80代	31名			葉梨・広幡地区	14名
		要介護4	3名	90代	27名				
		要介護5	6名	100代	2名				
		平均介護度 2.2		平均年齢 87.8歳		男女 19:81		居住 67:13:20	

(II) 年間行事実績 参考資料①参照

* 人員体制の縮小により、季節の行事や戸外活動などでも「取り組み方法の工夫・変更」を行った。活動を通して「楽しみや生きがいの場」「温かい居場所」と感じていただくことができ、多くのご家族からも喜びの声が聞かれた。

(III) カンファレンス実績 (計 127 件)

* ご本人・ご家族の現状や意向を確認し、多職種連携で速やかにケアへと繋げることができた。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
12件	9件	8件	13件	10件	13件	6件	11件	12件	10件	10件	13件

(IV) 事故、ヒヤリ・ハット報告件数 (計 27 件)

* 例年に比べ転倒・転落・尻もちの事故が目立ったが、ケガに繋がるケースは少なかった。

事故報告 18件					
転倒・転落・尻もち	10件	異食	1件	椅子に足をぶつける(入浴)	2件
送迎忘れ	2件	車を擦る(送迎)	1件	タイヤ脱輪(送迎)	2件

ヒヤリ・ハット報告 9件					
着座時の前のめり	1件	尻もち寸前	1件	異食寸前	1件
シャワーチェアバランス崩す	1件	シャワーチェア移乗時バランス崩す	1件	浴槽内マット滑る	1件
デイルームから出てしまう	1件	停車中に歩いて車内を移動	1件	車から降りてしまう	1件

(V) 長期的視野による運営の取り組み

* 全職員が日々の「目標利用人数」への意識を高め、積極的な利用率の増加に取り組むことができた。

* ご本人・ご家族の状態や都合に合わせた「臨時利用」、ショートステイや受診による欠席には「振替利用」や「遅刻・早退の柔軟な対応」の説明を丁寧に行った。又、季節の行事には「イベント集客」とし、臨時希望の受け入れを積極的に行った。いずれの実践も「空席の有効活用」に繋がり、利用率向上への動きとして定着した。

(VI) 個別プランで地域高齢者に寄り添う介護を実践

* 「仕事と介護の両立」などへの対応とし、早番や時間外支援の体制づくりを行った。

* 「体力的に一日利用するのは大変…」 「金銭面が心配… 半日だけ利用させてほしい」 「今、必要なのはお風呂・お昼ご飯・運動。一日は長い…」 「認知症介護のペースがあるため早い時間は無理…」

一歩踏み切れない新規利用者などに対し、ケアマネと連携し様々な個別プランで短時間利用の対応を行った。通常利用ではないため送迎面の対応に工夫が必要となるが、のちに信頼関係が築かれ一日利用へと延長するケースもみられた。

(Ⅶ)「創意・工夫」による1チーム制の実現

*今年度、介護職員（常勤1・非常勤2）・理学療法士（常勤1）・清掃員（非常勤2）の人員体制見直しがあり、大幅に運営方法の変更や、業務の改善を行った。

*前年度に行った「3チーム⇒2チーム制」の取り組みから、更に「1チーム制」へと変更。日々の業務について検討→改善を繰り返し、2月からはコンサルタントによるアドバイスをもとに「更なる無駄な業務の削減」に取り組むことができた。

*「部門が求められている課題」を整理し、コンサルタントによる専門的視点でのアドバイスを取り入れながら、職員一丸となって取り組んだ変革の一年であった。少ない人員体制下でも、多くのご利用者様に「温もりや安心を感じていただきたい…」職員の意欲を大切にこれからも取り組んでいきたい。